

# 北部浄化センターのしくみ



**スクリーンポンプ棟**  
 浄化センターに到着した汚れた水(汚水)はこの建物の地下に集まり、砂や大きなゴミなどの汚れを取りのぞき、ポンプで地上にくみ上げられ最初沈殿池へ送られます。

**最初沈殿池**  
 ここをゆっくり流れる間に小さなゴミや泥などをしずめさせて、ゴミを取りのぞき、うわすみ水は生物反応槽へ、沈んだゴミ(生汚泥)は汚泥処理施設に送られます。

**生物反応槽**  
 最初沈殿池から送られてきたうわすみ水を空気と微生物のついた泥(活性汚泥)と一緒にかき混ぜます。すると微生物が活動して水の汚れを食べてくれます。



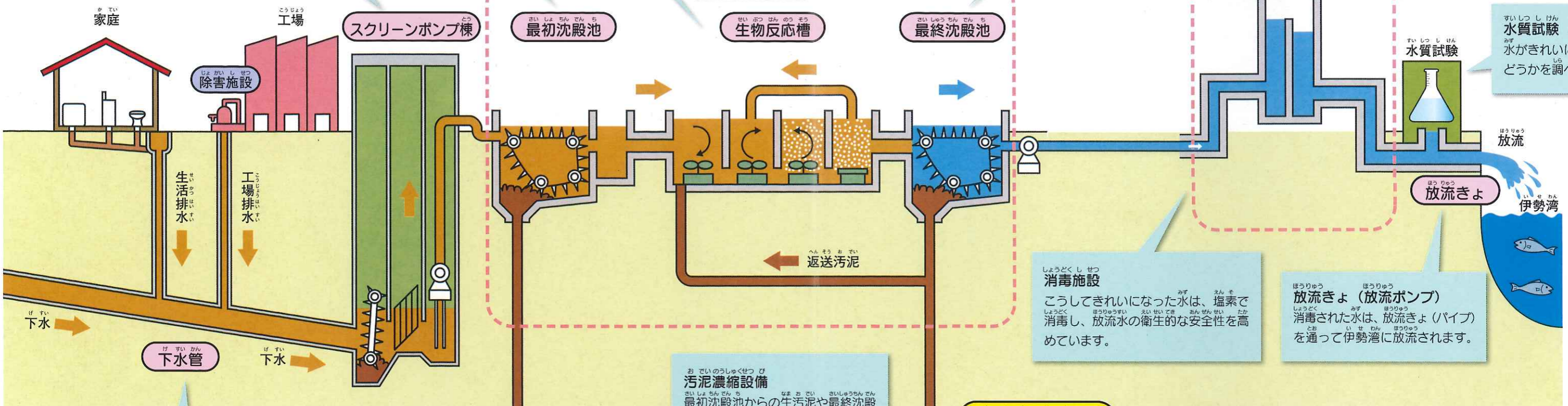
**最終沈殿池**  
 ここをゆっくり流れる間に活性汚泥は底に沈み、きれいになったうわすみ水は次の消毒施設に流れていきます。活性汚泥の大部分は生物反応槽に戻し(返送汚泥)、よぶんな汚泥(余剰汚泥)は汚泥処理施設へ送られます。



**消毒施設**

**塩素混和池**

**水質試験**  
 水がきれいになったかどうかを調べます。



**下水管**  
 家庭や工場から出された汚れた水(汚水)は、地下に張り巡らされた下水管を通して、浄化センターに流れていきます。

**汚泥濃縮設備**  
 最初沈殿池からの生汚泥や最終沈殿池からの余剰汚泥は多くの水を含んでいるので、この施設で水分をへらして汚泥量をへらします。

**消毒施設**  
 こうしてきれいになった水は、塩素で消毒し、放流水の衛生的な安全性を高めています。

**放流きよ (放流ポンプ)**  
 消毒された水は、放流きよ(パイプ)を通して伊勢湾に放流されます。

**初沈汚泥 (生汚泥)**  
**汚泥スクリーン棟**  
 最初沈殿池から送られてきた生汚泥の中の小さなゴミを取りのぞきます。

**汚泥処理施設**

**汚泥処理棟**

**汚泥処理棟**  
 それぞれ濃縮された汚泥をまぜて、脱水機で水分をしぼりとってケーキ状にしてトラックで場外にはび出しリサイクル(セメントの原料)します。

# 北部浄化センターについて

- 1日に流れてくる汚水の量.....約9万m<sup>3</sup>
- 汚水の処理にかかる時間.....約24時間
- 処理場の広さ.....約37万8,900m<sup>2</sup>
- 働いている人の数.....約50人